

令和元年度事務事業実績評価表

1 事業概要

課名		公民館	事業No.	308
会計		一般会計		
事業区分		経常	実施区分	継続
開始			終了	
事務事業名		勤労青少年ホーム運営事業		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			飯田市教育振興基本計画
	法令・例規等			社会教育法
				飯田市勤労青少年ホーム条例、飯田勤労者体育センター条例 消防法等の施設保全上の関係法令
事業目的		対象	勤労青少年ホーム利用対象者	
		意図	勤労青少年等を対象にした学習活動や余暇利用活動を支援し、次代を担う若者の定住を促進する。	

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)			
	平日夜間や休日の予約業務や使用料の取り扱い、インターネット予約受付など、利用者サービスの拡充に取り組みました。 WiFi設置、パブリックビューイング実施など、指定管理者の自主事業として行い、利用者の増加に向けた取り組みを行いました。		指定管理料				10,790			
			その他の経費				943			
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	勤労青少年ホーム利用者数	人	6,000	6,230	6,000	8,109	6,000	9,693		
	第一・第二体育館利用者数	人	45,000	45,744	45,000	48,556	45,000	42,759		
1年度決算(千円)	予算額		11,747		特定財源内訳及び補足事項					
	決算額		11,733		(そ) 諸収入					
	財源の状況	国庫支出金	0							
		県支出金	0							
		地方債	0							
その他		204								
	一般財源	11,529								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	10	5	4	14	2	11,747	11,733	勤労青少年ホーム管理費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識		指定管理者によるサービス向上や自主事業の取り組みにより、施設利用者が増加している一方で、教養講座は、参加者数が減少しています。							
上記の課題解決のための有効策		魅力ある教養講座の組み立てと積極的な広報活動を行います。							
次年度に向けての取り組み		利用者の目線に合ったサービスの向上、自主事業、広報活動に取り組みます。 4半期ごとの事業報告をもとに指定管理者と担当課で協議を行い、適切な施設の運営に取り組みます。							